

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2024年4月10日
【四半期会計期間】	第75期第2四半期（自 2023年12月1日 至 2024年2月29日）
【会社名】	ナガイレーベン株式会社
【英訳名】	NAGAI LEBEN Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 澤登 一郎
【本店の所在の場所】	東京都千代田区鍛冶町二丁目1番10号
【電話番号】	03(5289)8200(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 山村 浩之
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区鍛冶町二丁目1番10号
【電話番号】	03(5289)8200(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 山村 浩之
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第74期 第2四半期連結 累計期間	第75期 第2四半期連結 累計期間	第74期
会計期間	自2022年 9月1日 至2023年 2月28日	自2023年 9月1日 至2024年 2月29日	自2022年 9月1日 至2023年 8月31日
売上高 (千円)	7,931,902	7,392,002	17,181,958
経常利益 (千円)	1,890,432	1,639,763	4,673,189
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	1,295,736	1,129,033	3,226,360
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	1,272,956	1,163,228	3,250,187
純資産額 (千円)	41,610,363	41,842,497	43,214,125
総資産額 (千円)	45,785,070	45,577,812	47,377,716
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	40.16	35.39	100.04
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	90.9	91.8	91.2
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	877,810	83,887	1,812,783
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	1,965,427	890,576	3,417,847
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	1,935,059	1,925,303	2,935,464
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (千円)	4,610,347	4,861,827	7,759,008

回次	第74期 第2四半期連結 会計期間	第75期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自2022年 12月1日 至2023年 2月28日	自2023年 12月1日 至2024年 2月29日
1株当たり四半期純利益 (円)	26.34	20.88

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社及び当社の関係会社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社に異動はありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

#### (1) 財政状態及び経営成績の状況

##### (経営成績)

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、活動制限が解除され、社会経済活動の正常化に向けた動きが進行したものの、ウクライナ情勢やイスラエル・パレスチナ情勢での地政学上リスクの深刻化、原材料及びエネルギー価格の高騰、為替の変動、国内物価の高騰などにより、依然として先行き不透明な状況が続いております。

医療・介護を取り巻く環境としましては、物価・光熱費の高騰を受け、医療・介護機関は前期に引続き厳しい経営環境のまま推移いたしました。また新型コロナウイルス感染症対策としての支援金の縮小・廃止も経営悪化の大きな要因となりました。

このような環境の中、当第2四半期連結累計期間における当社グループ(当社及び連結子会社)の売上は、前年同期に商品価格改定前の駆け込み需要が発生し、その影響が大きく、前年同期比6.8%減の7,392百万円となりました。コア市場においては、前期からの期ズレ案件はキャッチアップされたものの、厳しい市場環境に変化はなく前期同様、商品選定や価格交渉の遅れで、更新案件に月ズレが発生するなど前年同期比8.6%減となりました。また周辺市場の患者ウェアは、リネンサプライヤーの原価上昇対策としての資材購入抑制の影響で、減収となりました。一方海外市場は、前期が減収だったこともあり、当期は前年同期比11.3%増と順調に推移いたしました。

利益に関する状況といたしましては、原材料費の高騰や国内工場の加工賃上昇および、前年同期と比べ大幅な円安水準での為替レートといった原価上昇要因がありましたが、海外生産率の上昇によるシフト効果や販売価格改定により、売上高総利益率は、前年同期比0.3ポイントアップの43.2%となりました。

販売費及び一般管理費におきましては、賃金引き上げ等による人件費の増加等により、前年同期比2.7%増となりましたが、計画比では3.1%減となりました。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間の売上高につきましては、7,392百万円(前年同期比6.8%減)、営業利益は1,608百万円(同13.5%減)、経常利益は1,639百万円(同13.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,129百万円(同12.9%減)を計上いたしました。

当社グループの事業は、メディカルウェア等の製造・販売の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

( 財政状態 )

a. 資産

当第 2 四半期連結会計期間末の資産合計は45,577百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,799百万円減少いたしました。流動資産合計は37,229百万円となり1,765百万円減少し、主な要因は、現金及び預金の減少2,097百万円、電子記録債権の減少465百万円、受取手形及び売掛金の増加388百万円、棚卸資産の増加942百万円等でありま  
す。固定資産合計は8,348百万円となり、34百万円減少いたしました。その内訳として有形固定資産は7,259百万円  
となり53百万円減少、無形固定資産は57百万円となり2百万円減少、投資その他の資産は1,031百万円となり21百万  
円増加いたしました。

b. 負債

当第 2 四半期連結会計期間末の負債合計は3,735百万円となり、前連結会計年度末に比べ428百万円減少いたしま  
した。流動負債合計は2,834百万円となり389百万円減少し、主な要因は、未払法人税等の減少308百万円等であり  
ます。固定負債合計は900百万円となり、39百万円減少いたしました。

c. 純資産

当第 2 四半期連結会計期間末の純資産合計は41,842百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,371百万円減少い  
たしました。主な要因は、配当の実施による1,926百万円の減少、親会社株主に帰属する四半期純利益1,129百万  
円の計上による増加等であります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の91.2%から91.8%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第 2 四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は4,861百万円となり、前  
連結会計年度末に比べ2,897百万円減少いたしました。

当第 2 四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

( 営業活動によるキャッシュ・フロー )

営業活動の結果使用した資金は83百万円（前年同期は877百万円の使用）となりました。

主な要因は、税金等調整前四半期純利益1,639百万円（同1,889百万円）、減価償却費130百万円（同132百万円）  
等による増加と、法人税等の支払額819百万円（同1,014百万円）、棚卸資産の増加額942百万円（同918百万円）、  
売上債権の増加額11百万円（同739百万円）等による減少であります。

( 投資活動によるキャッシュ・フロー )

投資活動の結果使用した資金は890百万円（前年同期比は1,965百万円の獲得）となりました。

主な要因は、定期預金の払戻に対する預入の超過支出800百万円（前年同期は預入に対する払戻の超過収入2,100  
百万円）、有形固定資産の取得による支出81百万円（同117百万円）等による減少であります。

( 財務活動によるキャッシュ・フロー )

財務活動の結果使用した資金は1,925百万円(同1,935百万円)となりました。

これは、配当金の支払額1,925百万円（同1,935百万円）による減少であります。

(3) 経営方針・経営戦略等

当第 2 四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はあ  
りません。

(4) 優先的に対処すべき事業上及び財務上の課題

当第 2 四半期連結累計期間において、当社グループが優先的に対処すべき事業上及び財務上の課題について重要  
な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第 2 四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、95百万円であります。

なお、当第 2 四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 3【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	100,000,000
計	100,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在 発行数(株) (2024年2月29日)	提出日現在発行数(株) (2024年4月10日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	35,736,000	35,736,000	東京証券取引所 プライム市場	単元株式数 100株
計	35,736,000	35,736,000	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
2023年12月1日～ 2024年2月29日	-	35,736,000	-	1,925,273	-	2,202,171

## (5) 【大株主の状況】

2024年2月29日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式(自己株式を除く。)の総数に対する所有株式数の割合(%)
澤登 一郎	神奈川県川崎市麻生区	5,820	18.29
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	東京都港区赤坂1丁目8-1赤坂インターシティAIR	3,424	10.76
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE FIDELITY FUNDS (常任代理人 香港上海銀行東京支店)	50 BANK STREET CANARY WHARF LONDON E14 5NT,UK (東京都中央区日本橋3-11-1)	2,248	7.07
JP MORGAN CHASE BANK 380055 (常任代理人 株式会社みずほ銀行 決済営業部)	270 PARK AVENUE, NEW YORK, NY 10017, UNITED STATES OF AMERICA (東京都港区港南2丁目15-1品川インターシティA棟)	1,743	5.48
有限会社登龍	東京都中央区日本橋本町3丁目3-6	1,455	4.57
澤登 辰郎	東京都中央区	1,050	3.30
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8-12	964	3.03
RBC IST 15 PCT NON LENDING ACCOUNT - CLIENT ACCOUNT (常任代理人 シティバンク、エヌ・エイ東京支店)	7TH FLOOR, 155 WELLINGTON STREET WEST TORONTO, ONTARIO, CANADA, M5V 3L3 (東京都新宿区新宿6-27-30)	850	2.67
澤登 春江	東京都中央区	623	1.96
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001 (常任代理人 株式会社みずほ銀行 決済営業部)	P.O.BOX 351 BOSTON MASSACHUSETTS 02101 U.S.A (東京都港区港南2-15-1品川インターシティA棟)	622	1.96
計	-	18,803	59.09

(注) 1. 当社は、自己株式3,913千株を保有しておりますが、上記大株主の状況には含めておりません。

2. エフエムアール エルエルシーから2023年1月11日付で提出された「大量保有報告書」(変更報告書)により、2022年12月30日現在で以下の株式を保有している旨の報告を受けておりますが、当社として当四半期末時点の所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況には含めておりません。

なお、「大量保有報告書」(変更報告書)の内容は次のとおりであります。

氏名又は名称	所有株式数(千株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
エフエムアール エルエルシー	2,789	7.81

3. ファースト・イーグル・インベストメント・マネジメント・エルエルシーから2014年3月4日付で提出された「大量保有報告書」(変更報告書)により、2014年2月28日現在で以下の株式を保有している旨の報告を受けておりますが、当社として当四半期末時点の所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況には含めておりません。

なお、「大量保有報告書」(変更報告書)の内容は次のとおりであります。

氏名又は名称	所有株式数(千株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
ファースト・イーグル・インベストメント・マネジメント・エルエルシー	2,002	5.24

( 6 ) 【議決権の状況】  
【発行済株式】

2024年2月29日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 3,913,800	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 31,814,700	318,147	-
単元未満株式	普通株式 7,500	-	-
発行済株式総数	35,736,000	-	-
総株主の議決権	-	318,147	-

【自己株式等】

2024年2月29日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
ナガイレーベン株式会社	東京都千代田区鍛冶町 2 - 1 - 10	3,913,800	-	3,913,800	10.95
計	-	3,913,800	-	3,913,800	10.95

- (注) 1. 上記のほか、単元未満自己株式を14株保有しております。  
2. 2024年1月9日に実施した譲渡制限付株式報酬としての自己株式処分により、7,626株減少いたしました。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（2023年12月1日から2024年2月29日まで）及び第2四半期連結累計期間（2023年9月1日から2024年2月29日まで）に係る四半期連結財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年2月29日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	27,159,008	25,061,827
受取手形及び売掛金	2,928,309	3,316,945
電子記録債権	2,051,430	1,585,650
棚卸資産	6,059,804	7,002,688
その他	797,243	263,177
貸倒引当金	501	496
流動資産合計	38,995,296	37,229,793
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,520,506	2,540,093
機械装置及び運搬具(純額)	190,903	175,317
土地	4,440,815	4,440,815
建設仮勘定	56,360	-
その他(純額)	103,669	102,972
有形固定資産合計	7,312,255	7,259,198
無形固定資産	59,929	57,546
投資その他の資産		
投資有価証券	183,072	208,851
その他	828,962	824,222
貸倒引当金	1,800	1,800
投資その他の資産合計	1,010,234	1,031,273
固定資産合計	8,382,419	8,348,019
資産合計	47,377,716	45,577,812
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,606,450	1,647,393
未払法人税等	865,103	556,923
賞与引当金	85,375	83,438
その他	666,608	546,752
流動負債合計	3,223,537	2,834,508
固定負債		
役員退職慰労引当金	37,130	39,510
退職給付に係る負債	530,541	489,046
その他	372,381	372,251
固定負債合計	940,052	900,807
負債合計	4,163,590	3,735,315

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年2月29日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,925,273	1,925,273
資本剰余金	1,930,127	1,938,051
利益剰余金	43,823,430	43,026,204
自己株式	4,514,214	5,130,737
株主資本合計	43,164,616	41,758,792
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	72,157	89,368
繰延ヘッジ損益	17	-
退職給付に係る調整累計額	22,666	5,664
その他の包括利益累計額合計	49,509	83,704
純資産合計	43,214,125	41,842,497
負債純資産合計	47,377,716	45,577,812

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)
売上高	7,931,902	7,392,002
売上原価	4,527,850	4,196,486
売上総利益	3,404,051	3,195,516
販売費及び一般管理費	1,544,574	1,586,883
営業利益	1,859,477	1,608,632
営業外収益		
受取利息	2,344	2,259
受取配当金	2,488	2,819
受取賃貸料	44,218	44,143
為替差益	-	1,094
雑収入	9,700	6,956
営業外収益合計	58,752	57,273
営業外費用		
固定資産賃貸費用	21,187	23,385
為替差損	6,190	-
雑損失	419	2,758
営業外費用合計	27,797	26,143
経常利益	1,890,432	1,639,763
特別損失		
固定資産除売却損	1,005	0
特別損失合計	1,005	0
税金等調整前四半期純利益	1,889,426	1,639,763
法人税、住民税及び事業税	614,643	522,133
法人税等調整額	20,953	11,403
法人税等合計	593,690	510,729
四半期純利益	1,295,736	1,129,033
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,295,736	1,129,033

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)
四半期純利益	1,295,736	1,129,033
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,142	17,210
繰延ヘッジ損益	30,280	17
退職給付に係る調整額	9,642	17,001
その他の包括利益合計	22,779	34,195
四半期包括利益	1,272,956	1,163,228
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,272,956	1,163,228

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,889,426	1,639,763
減価償却費	132,960	130,967
貸倒引当金の増減額(は減少)	48	5
賞与引当金の増減額(は減少)	6,096	1,937
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	1,760	2,380
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	4,947	15,700
受取利息及び受取配当金	4,832	5,078
為替差損益(は益)	2,925	2,607
有形固定資産売却損益(は益)	16	-
有形固定資産除却損	988	0
売上債権の増減額(は増加)	739,954	11,410
棚卸資産の増減額(は増加)	918,351	942,883
仕入債務の増減額(は減少)	164,254	40,943
未払消費税等の増減額(は減少)	315,549	32,313
その他	68,916	69,447
小計	133,730	732,668
利息及び配当金の受取額	2,733	3,180
法人税等の支払額	1,014,274	819,736
営業活動によるキャッシュ・フロー	877,810	83,887
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	3,200,000	2,900,000
定期預金の払戻による収入	5,300,000	2,100,000
有形固定資産の取得による支出	117,213	81,527
無形固定資産の取得による支出	17,673	7,263
投資有価証券の取得による支出	862	993
貸付金の回収による収入	1,849	1,969
その他	672	2,761
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,965,427	890,576
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	1,935,059	1,925,303
自己株式の取得による支出	-	626,519
自己株式取得のための預託金の増減額(は増加)	-	626,519
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,935,059	1,925,303
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,861	2,585
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	850,303	2,897,181
現金及び現金同等物の期首残高	5,460,650	7,759,008
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,610,347	4,861,827

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

棚卸資産の内訳及び金額は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年2月29日)
商品及び製品	4,893,756千円	5,865,902千円
仕掛品	248,841	252,529
原材料及び貯蔵品	917,206	884,256
計	6,059,804	7,002,688

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年9月1日 至2023年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年9月1日 至2024年2月29日)
従業員給料及び賞与	481,242千円	501,572千円
賞与引当金繰入額	59,688	61,025
退職給付費用	24,770	19,552
役員退職慰労引当金繰入額	1,760	2,445
広告宣伝費	251,980	223,670
減価償却費	70,212	66,073

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年9月1日 至2023年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年9月1日 至2024年2月29日)
現金及び預金勘定	25,610,347千円	25,061,827千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	21,000,000	20,200,000
現金及び現金同等物	4,610,347	4,861,827

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2022年11月25日 定時株主総会	普通株式	1,935,610	60.00	2022年8月31日	2022年11月28日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)

1.配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2023年11月24日 定時株主総会	普通株式	1,926,258	60.00	2023年8月31日	2023年11月27日	利益剰余金

2.株主資本の著しい変動

(自己株式の取得)

当社は、2023年6月29日開催の取締役会決議に基づき、当第2四半期連結累計期間において自己株式289,700株を626,407千円で取得いたしました。この結果、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が5,130,737千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループの事業は、メディカルウェア等の製造・販売の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(収益認識関係)

当社グループの事業は、メディカルウェア等の製造・販売の単一セグメントであり、顧客との契約から生じる収益を市場別に分解した情報は、以下のとおりであります。

前第2四半期連結累計期間(自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)

	売上高(千円)
コア市場	5,674,062
周辺市場	2,161,545
海外市場	96,294
顧客との契約から生じる収益	7,931,902
その他の収益	-
外部顧客への売上高	7,931,902

(注) コア市場・・・ヘルスケアウェア、ドクターウェア、ユーティリティウェア、感染対策商品、シューズ・他  
周辺市場・・・患者ウェア、手術ウェア

当第2四半期連結累計期間(自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)

	売上高(千円)
コア市場	5,187,795
周辺市場	2,097,067
海外市場	107,139
顧客との契約から生じる収益	7,392,002
その他の収益	-
外部顧客への売上高	7,392,002

(注) コア市場・・・ヘルスケアウェア、ドクターウェア、ユーティリティウェア、感染対策商品、シューズ・他  
周辺市場・・・患者ウェア、手術ウェア

( 1 株当たり情報 )

1 株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第 2 四半期連結累計期間 ( 自 2022年 9 月 1 日 至 2023年 2 月 28 日 )	当第 2 四半期連結累計期間 ( 自 2023年 9 月 1 日 至 2024年 2 月 29 日 )
1 株当たり四半期純利益	40円16銭	35円39銭
( 算定上の基礎 )		
親会社株主に帰属する四半期純利益 ( 千円 )	1,295,736	1,129,033
普通株主に帰属しない金額 ( 千円 )	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益 ( 千円 )	1,295,736	1,129,033
普通株式の期中平均株式数 ( 株 )	32,262,588	31,898,425

( 注 ) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益については潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

( 重要な後発事象 )

( 自己株式の取得 )

当社は、2024年 4 月 2 日開催の取締役会において、以下のとおり、会社法第165条第 3 項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項を決議いたしました。

1 . 自己株式の取得を行う理由

定款の定めに基づいて、今後の経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行のため、自己株式を取得するものであります。

2 . 取得の内容

- ( 1 ) 取得する株式の種類 当社普通株式
- ( 2 ) 取得する株式の総数 500,000株を上限とする  
( 発行済株式総数 ( 自己株式を除く ) に対する割合 1.57% )
- ( 3 ) 株式の取得価額の総額 10億円を上限とする
- ( 4 ) 取得する期間 2024年 4 月 3 日から2024年 9 月30日
- ( 5 ) 取得方法 東京証券取引所における市場買付

( ご参考 ) 2024年 2 月29日時点の自己株式の保有状況

発行済株式総数 ( 自己株式を除く )	31,822,186株
自己株式数	3,913,814株

## 2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2024年4月10日

ナガイレーベン株式会社

取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人  
東京事務所

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 山崎 隆浩

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 稲吉 崇

監査人の結論

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているナガイレーベン株式会社の2023年9月1日から2024年8月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（2023年12月1日から2024年2月29日まで）及び第2四半期連結累計期間（2023年9月1日から2024年2月29日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ナガイレーベン株式会社及び連結子会社の2024年2月29日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項が全ての重要な点において認められなかった。

監査人の結論の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューの基準における当監査法人の責任は、「四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

四半期連結財務諸表に対する経営者及び監査等委員会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

四半期連結財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき四半期連結財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査等委員会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した四半期レビューに基づいて、四半期レビュー報告書において独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に従って、四半期レビューの過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対する質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続を実施する。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

- ・ 継続企業の前提に関する事項について、重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められると判断した場合には、入手した証拠に基づき、四半期連結財務諸表において、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、適正に表示されていないと信じさせる事項が認められないかどうか結論付ける。また、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、四半期レビュー報告書において四半期連結財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する四半期連結財務諸表の注記事項が適切でない場合は、四半期連結財務諸表に対して限定付結論又は否定的結論を表明することが求められている。監査人の結論は、四半期レビュー報告書日までに入手した証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 四半期連結財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠していないと信じさせる事項が認められないかどうかとともに、関連する注記事項を含めた四半期連結財務諸表の表示、構成及び内容、並びに四半期連結財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示していないと信じさせる事項が認められないかどうかを評価する。
- ・ 四半期連結財務諸表に対する結論を表明するために、会社及び連結子会社の財務情報に関する証拠を入手する。監査人は、四半期連結財務諸表の四半期レビューに関する指示、監督及び実施に関して責任がある。監査人は、単独で監査人の結論に対して責任を負う。

監査人は、監査等委員会に対して、計画した四半期レビューの範囲とその実施時期、四半期レビュー上の重要な発見事項について報告を行う。

監査人は、監査等委員会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

#### 利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- 
- (注) 1. 上記の四半期レビュー報告書の原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれておりません。